



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 NISHINOMIYA**



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

主　　題　(2008~2009)

- ・国際協会会長 『Be the Light of Hope』
V.S.Bashir (India インド) 「希望の灯となろう」
- ・アジア地域会長 『Be the Light of Hope』
Rita .Hettiarachchi (Sri Lanka スリランカ)
- ・西日本区理事 『思いやりを持ってワイスライフを!』
佐藤 典子 (熊本ジェーンズ) "Share with a smile"
- ・六甲部 部長 『"悠々として急げ" ワイスライフ』
山口 政紀 (西宮) 「Festina Lente」
- ・西宮クラブ会長 『参加して、奉仕しよう!』
瀧 浩一 "Let 's join us in serving others!"

2008年9月 西日本区強調ポイント "Menettes"

メネット同士の親睦を深めるとともに、ワイスの一員としてメネットも積極的に例会に参加しましょう。メネットを中心にメネットも楽しく参加できる例会を企画しましょう。

田上かつみメネット事業主任

2008年 9月

724号 **60周年**

62期 3号

since 1948.5.17

スパンサークラブ
大阪クラブ
DBC
近江八幡クラブ
広島クラブ

クラブ主役員

会長 濱 浩一
直前会長 小野 勅紘
副会長(次) 浅野 純一
副会長 岩田 健司
書記 小野 勅紘
書記 丸山 悅治
会計 山本 常雄
会計 藤原 百合子
監事 小林 光枝
監事 足立 康幸
担当主事 三島 浩司
六甲部長 山口 政紀
六甲部書記 廣瀬 一雄
六甲部会計 足立 康幸

(熊本むさしワイスメンズクラブ)

2008年9月第1例会のご案内

今月のテーマ: **『六甲部会』**

日時: **2008年9月20日(土) 13時30分~**

9月21日(日) 昼食後解散

場所: 神戸 YMCA 余島野外活動センター

登録料: 13,000 円

ドライバー: 浅野メン、宮地特別メネット、浜メネット

内容: メネットアワー 「発達しうがい児への取り組み」

神戸 YMCA 総主事 水野雄二さん

「ナショナルトラスト運動とヴォーリス六甲山荘」

西宮ワイスメンズクラブ 清水彬久メン

「日本基督教団東神戸教会牧師 川上 盾さんと

歌いましょう!」

部会実行委員長: 岡田 佑一郎メン

部会実行委員: 馬場 一郎メン

連絡先: 担当主事 三島 浩司メン(西宮 YMCA)

今月の聖句

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。互いに思いを一つにし、高ぶらず、身分の浅い人々と交わりなさい。自分を賢い人とうぬぼれはなりません。誰に対しても悪に悪を返さず、すべての人の前で善を行なうように心がけなさい。できれば、せめてあなたがたは、すべての人と平和に暮らしなさい。

「ローマの信徒への手紙 12章 15~18節」

8月 例会出席状況 在籍会員数 21名

第1例会(8.22) 第2例会(7.25)

メン 17名 メン 7名

メネット・コメット 3名 メネット 0名

ゲスト・ビジター 6名 ゲスト・ビジター 0名

合 計 26名 合 計 7名

(出席率 85%)

【今月の言葉】『Menettes』

メネット Y's Menettes ワイスメネットの略。

ワイスメンの夫人および各個クラブが特別メネットとして入会を認めた女性。 **メネット会** Y's Menettes Club メネットたちが、国内外のワイス活動を支援するとともに、独自の事業を計画、実施することを目的として組織する会。 **特別メネット** ワイスメンの夫人ではないが各個クラブが入会を認めた女性

URL: <http://www.kobeymca.or.jp/ys/nishinomiya/index.html>

2008年9月 Happy Birthday To You

お誕生日おめでとうございます

1日 岩田 健司メン 6日 丸山 美巴メネット

17日 宮地 京子特別メネット

21日 岡田 佑一郎メン

第68回国際大会に参加して

パート

小野 勅紘メン

7月30日(水)早朝関空に集まった西日本区の40名はルフトハンザのストライキで2時間遅れで離陸。西宮からは山本夫妻、廣瀬夫妻、小野の5名。フランクフルト、コペンハーゲン、ビルン空港を経由して会場のヘアニングに到着したのは6時間遅れの深夜1時を回っていた。5名がコペンハーゲン泊となったり、芦屋クラブのK会長のバゲッジが3日間出てこなかつたりで、散々なフライトだった。疲労困憊で到着したヘアニングは風光明媚な地方都市で、会場まで10分の便利な足場。

よく眠れない夜を過ごした割には清々しい朝を迎えて、デンマーク風のチーズやヨーグルト、出来立てのパンでの朝食。

同宿は土佐堀クラブの重鎮の灰谷元理事。2年前の釜山でも臼井元理事と同宿になり、ワイスの真髄を教えて頂きラッキーでした。灰谷さんは76年から国際大会は欠かさず参加され、交流を深められたとのこと。その間ずっと一緒だったメネットを約10年前に亡くされ一人暮らしの悲哀を味わったが今では娘夫婦と同居して幸せとのこと。同室でかつての東西の仲間たちが集まり懇親の時が持たれたが素晴らしい仲間達だと思う。また今回最後になろうと思われる今村メン夫妻が車椅子で参加され、灰谷メン、水口夫妻でデンマークを回ること。感心したのは私が床に着いた後でも毎日日記を書いておられ几帳面な方だと思いました。

さて、1日目の31日は14時から開会式が行われ国際会長の引継式や基調講演があり、世界YMCA同盟総主事のバーソロミュー・シャハ博士のお話。その夕刻から直前国際会長主催の晩餐会。釜山では席は決っていなかったが、3日間席が決められており、その席毎での交流はなかなかいい。1,100名の参加者の内750名がデンマーク人、100名が



コペンハーゲン空港の人魚像のコピー



コペンハーゲン市博物館のキエルケゴールの遺品



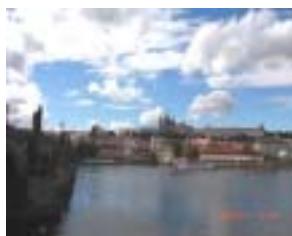
今村、灰谷、水口各メン(土佐堀)



オプションツアー(デンガムルバイ)



閉会式



プラハ城



世界遺産・チェスキー・クルムロフ全景



ミラベル宮殿と公園



モーツアルトの生家(博物館)



シェーンブルン宮殿



聖シュテファン大聖堂

日本人、その他が250名となっている。従って各席に殆どデンマークのカップルがいるが、英語が必ずしも通じないので苦労する。料理には必ず大量のジャガイモがつく。初日はターキーがディナーであったが総じて質素。私は3日間を通じて日本から持参のミニプレゼント（今回は上方歌舞伎の浮世絵ハンカチ。前回はグリコのおまけのミニ絵本）を差し上げて交流を図った。

2日目は全体会と分科会と次期国際会長主催の晩餐会であったが、私は予ねてよりの計画で芦屋クラブの島田メンとコペンハーゲンに向かった。島田メンはデンマークの哲学者キエルケゴール博物館や墓に詣でることで、私はデンマーク産で世界的に有名なオーディオのレコード針のカートリッジ入手するそれぞれの目的があった。島田メンに通訳していただいて市内の家電店に行ったが今ではCDの時代で製造の本場でさえレコード針のようなマニアックなアイテムは販売されておらず目的は達成出来なかった。そこで行動目的を変更して只管島田メンに同行することにした。タクシーを乗り継いでキエルケゴールの足跡を辿った。市立博物館では意外に小さな扱いにがっかり。それにしてもデンマークはじめ欧州の物価高にはびっくり。ペットボトルの水が400～500円。食事もけっして手ごろではない。タクシーも高い。その高いタクシーの運転手に島田メンは丁寧に月収など等を聴取していた。押しなべて50万～80万/月であるが、学費や病院などが無料という高福祉に市民は満足しているようだ。夜半から市内の教会で礼拝に参加した。到着後行う予定であった次回横浜国際大会のアピールはお昼に行われたとのこと。

3日目は最後の日。午前はエリア別ミーティング（アジア議会）に参加した。午後はオプショナルツアーで中世の民家や農家を再現した公園「デンガムルバイ」に行った。晩餐会は国際会長主催。またもやジャガイモの嵐の中での会食。国際会長の挨拶の

後、ユースコンボケーションの紹介とアピール。ゴスペルのコンサートで盛り上った後は遅くまでダンスタイムに打ち興じた。

4日目、国際大会も閉会式。記念礼拝で国際委員の谷本メン（東広島）が基調講演で「イーグル伝説」を披露された。このテーマは次期西日本区理事キャビネットでも話題になり本当にそうなのか、私が調べることになったが書店を駆け巡った結果、それらしき記述は見当たらなかった。

終了後、我々Bグループ19名はチェコのプラハ城や世界遺産チェスキー・クルムルフの名城、ザルツブルグではモーツアルトの生家、ウィーンではハプスブルグ家の繁栄の跡のシェーンブルン宮殿や今でも修復中の聖シュテファン大聖堂で4.5ユーロ（740円）のエレベーターで屋上まで昇りウィーン市内を展望した。プラハでは手違いで奈良の高橋メンとダブルベッドで一夜を共にしたが、熊本の理事キャビネットや望月、西村メン、林メン一家らと同行し、新しい交流が出来た。ザルツブルグでは余島キャンプリーダー仲間の今小路君と食事を共にして旧交を温めることができた。

長いようであっという間の11日間を北欧から中欧で過ごし灼熱の大阪に戻ってきた時には既に北京五輪が始まっていました。

デンマーク国際会議のあと

山本常雄メン

Denmarkの国際会議への参加は、20年前の京都大会で我家にホームステイした Birgit & Lars Solumさんにお会いする事と、Londonに住む娘との北欧小旅行を楽しむことが目的でもありました。

Solumさんご夫妻は健康にも恵まれて、お二人で隣国Denmarkでの国際大会にも参加され、初日開会式の後20年ぶりに会場入口付近でお逢いでき暫らくの間熱烈歓迎を受けました。期間中何度もお逢いし旧交を暖めましたが、大会終了後にNorwayに出向き、Osloで娘と待ち合わせをして一路バスで南下し、国境近く

の Fredrickstad という港町の Solum さんのお宅に 2 日間お世話になりました。近くにお住いの長女ご夫妻とお孫さん、またその娘さんとそのお子さん(曾孫)も一緒に夕食後のひと時を楽しく過ごしました。

(日没は午後 10 時頃)

翌日にはご近所に住む Ys 仲間の Roger さんご夫妻の家にもご招待して頂き、少し遅い昼食後、Roger さんのボートに載せて頂き 3 時間程クルージングを楽しみ、また舵取りもさせて頂きました。

Solum Roger 両ご夫妻には 2 年後の横浜大会には是非日本に来られ西宮・神戸にも足を運ばれる様にお願いし Oslo に向かいました。Oslo は短い夏の期間に完成させようと町中工事だらけ、散策時間が余りなくノーベル賞授賞式で有名な Oslo 市庁舎とその界隈の散策を楽しみました。続く 3 日間は Stockholm に移動し本当に整然とした美しい街並を堪能しました。北欧の人々は短い夏を本当に楽しんでいました。日傘を差す人は一人も見かけませんし、平気で半袖・半ズボンで居ますが私共は長袖にジャケットを羽織っても寒がっていました。最後の 1 週間は風邪を引くなど、避暑を超えて震えていました。豊かで美しい国々ではありましたが、物価は日本の約 2 倍と少々参りました。時間と余裕があればまた行って見たい北欧諸国。娘と 3 人水入らずの楽しい一時を過しました。

第一例会の報告

ドライバ 馬場一郎メン
堤 一幸メン

8 月第一例会は西宮 Y M C A 保育園 3 階ホールにて、日本熊森協会会長、森山まり子さんをスピーカーにお迎えして行なわれました。今回のドライバーは馬場メン、堤メン。濱会長が遅れられるとのことで、浅野副会長の開会点鐘で始まりました。ゲストは山口メンの奥様、洋子さんと関学後輩の山田和生

さん(奥様、久美香さん)がお仕事の都合で欠席でした。)そして藤原メンから、草地とし子さん、土田和子さん(旧姓西村さん、キャンブリーダーOG)のご紹介をいただきました。

食前の感謝、清水メン。そして会食。

さて、今回のスピーチは、森山まり子さんです。以前藤原メンから「クマともりとひと」とう本をご紹介いただいた方です。私(馬場)も以前から、気になっていた本で、一度森山さんとお話し



てみたいなあと思っていました。

森山さんは言われます。私たちは自然と共生しているのではなく、自然に生かされているんだと。森が植物を育て、動物を守り、人間を生かしているんだと。すべての生物が、つながって生きおり、いなくてよい生物なんていないと。森を守り、日本を守り、地球を次の世代に残していくために私たちが、行なっていかねばならないことはなんだろうかと問いかけられました。奥山の驚異的な力をパワーポイントでみせていただき、国策の失敗を指摘されました。Y M C A が子どもたちに行なっているキャンプの中にも、自然、環境を守っていく、地球を壊さないために私たちには何ができるのかを問いかける、そんなプログラムを提供していくことも大切なではないか、と考えさせられました。機会を作って、さらに学びを深められたら



と思います。お話を後、「アメニティー 2000」を主催されている清水メンから「大変尊い運動をがんばっておられるお話を聞きし、今後何かでつながっていけたら」

というコメントをいただきました。

その後、お誕生日のお祝い(清水メン、馬場メン)、ワイズニュース、Y M C A報告の後、西宮ワイズメンズクラブから、山口ご夫妻にお花をお渡しし、皆でご結婚のお祝いをいたしました。「おめでとうございます」。なお、岡田メンから9月20、21日、余島で開かれる六甲部会のご案内をされました。六甲部会では清水さんの「ナショナル・トラスト」運動のお話を聞きします。ぜひご参加ください。閉会点鐘。



会食ではおなじみの松本メンの手品は相変わらずお見事。その後、西宮からのミニバナーを贈呈した。最後に念入りなニコニコファンドがありお開きとなった。フラチームの皆さんお疲れ様でした。



近江八幡クラブ納涼例会

小野 勅紘メン

昨年は六甲部4クラブで納涼例会が開催されて、お誘いのあったD B Cの近江八幡の納涼例会には行けなかった。

今年は六甲部4クラブ納涼例会がなく出来上がったばかりのミニバナーの贈呈もあり、山本メンと参加した。



近江八幡クラブは実に芸達者な方が多く、今年は5月に参加した宝塚クラブ20周年記念のフラダンスに感銘し近江八幡でもフラのチームが結成されたとのことで、初お目見えの機会でもあった。夕日をバックに爽やかな秋風に吹かれての披露の予定があいにくの雨で座敷でのお披露目となった。チームの特徴としてはネット1人、ウィメン2人を含む15人ですが、他にはない河童が2匹入っているとか。

イタリアへの旅行

浅野 純一メン

8月に約1週間あまりイタリアに旅行しました。大学4年生の娘との旅行で、旅先で出会った人たちから父と娘の旅行を随分と珍しがられました。訪れたところはローマ、フィレンツェ、ベネチア、ミラノです。ローマは2度目で、前回トレヴィの泉ではコインは投げなかったのですが、再びローマを訪れることができました。娘は飲食関係の会社に就職が内定しましたが、イタリアの味を研究もし、また楽しんでいました。ピザとジェラードは日本にはない美味しさを感じているようでした。

私はベネチアが印象に残りました。ゴンドラ(手漕ぎの舟)による運河巡りも素晴らしかったのですが、やはり歴史に興味がひかれます。5世紀、ゲルマンの移動から逃れるためにイタリア人がラグーン(湾が砂州によって囲まれ湖化したところ)に浮かぶ島に上陸

したのが始まりですが、共和政治が行われ、中世には商業都市として最盛期を迎えます。近代はじめの大航海時代にはベネチアは転換を迫られますが、その後も時代の変化に巧みに乗り越えていきます。わが国の今後のあり方に大いに参考なるように思えます。

ところで、ヨーロッパの物価高はなぜなのでしょうか、フレンツェでスーパーで買い物をしていましたら、現地の人から日本語で「日本の 100 円ショップは安くてすばらしい」と声をかけられました。2002 年にユーロが導入されたときは 1 ユーロは約 110 円、今回の旅行では約 170 円です。どのように考えても日本とイタリアを比べてみて円は安すぎるのではと思いました。国際経済はどのように動いているのでしょうか。

音を重ねる日々は心を重ねる日々-46-



楽団あぶあぶあ & ミュージカルチーム LOVE 代表ひがしの ようこさん
音を重ねる日々は心を重ねる日々に
しばらくお休みさせて戴きます。

瀬 浩一 メン

六甲部長公式訪問

山口 政紀メン

神戸クラブ 8 月第一例会 訪問日 : 2008

年 8 月 12 日 (火) 午後 6 時 30 分 ~ 8 時

例会場所 : 神戸 YMCA サイコー亭

同行者 : 書記 廣瀬一雄、会計 足立康幸

神戸クラブは河合睦文会長の主題「ワイスであろう・Be wise」を掲げてスタートされたものの、体調を崩されたので、直前森章一会長の点鐘で開会しました。

夏の例会と河合会長の回復を願ってと部長訪問などでビールを頂きながらの会食となりました。山口徹

プログラム委員長の配慮でしょうか！ 美味しかったです。

西宮クラブ 60 周年記念例会や、近江岸建助メンの召天に際してのお礼を申しあげました。

ネット、特別ネットの例会参加は神戸クラブの強みです。そして森愛子主査が西日本区次期ネット主任を担ってくださることに感謝し、鈴木次期理事の支援をお願いしました。

7 月の新入会員（原信行メン）の入会式には部長に代わって廣瀬書記と足立会計が立ち会ってくださり六甲部キャビネットとしては二ヵ月連続の訪問となりました。今期六甲部第一号の増員です。

神戸クラブは 1930 年のチャーターですから明後年 2010 年は 80 周年です。

六甲部全クラブのリーダーとしてバランスの取れた幅広い活動を展開されるとともに

まさに悠々と！ 80 周年に大いなる変貌を期待しますとスピーチしました。

会計からのお知らせ

山本常雄メン

1) (仮称) 西宮ワイス基金の創設

7 月の役員会で標記西宮ワイスの発展のための特別な基金（西宮クラブの運営の円滑化を図り、また記念事業等の支援に供するためのファンド受皿）が承認されました。1 万円以上のご寄贈に対し、お名前と記念事項・目的等を記録し永久に保管します。その運用はその時々の役員会の承認を得て会長責任で行い、管理は会計が担当する。記録帳(Memorandums of Nishinomiya Y's Mens Club)を作成し、所謂「宮地基金」以降の上記該当ファンドを記録に残します。

2) 伊地知久より 6 月 28 日のご結婚 60 周年

(ダイヤモンド婚)を記念してご寄贈頂きましたことをお知らせすると共に、上記(仮称)西宮ワイス基金に登録致しました。

3)新年度に入り08-09前期半年会費納入の時期になりましたので会費未納の方は、下記口座にお振込み下さいます様宜しくお願ひいたします。

振込先 三井住友銀行 尻川支店

普通預金 口座 No. 3 2 3 0 2 2 0

口座名義 西宮ワイスメンズクラブ 山口政紀

じゃがいもファンドのお願い

ファンド委員長 山本常雄メン

今年もまたじゃがいもの時期がやって参りました。本年は原点に戻り、男爵改良型(農林1号)700箱と栗かぼちゃ150箱を計画していましたが、ご存知の如く原油の高騰により農産物の生産原価と輸送価格が大幅な値上げを余儀なくされ、発注個数乃至頒布単価の見直しのためパンフレットの制作が遅れています。9月度役員会での決定後早急にメール等でお知らせ致しますので今暫らくお待ち下さい。

北海道十勝ワイスメンズの手で豊かに育ったじゃがいもと栗かぼちゃをご賞味頂き、またお広め頂きたく宜しくお願い致します。商品は濱会長宅ガレージに10月17日夕刻に到着し皆様に荷卸を手伝って頂き、続く18-19日に有志の手で阪神間のお宅に配達の予定です。（予算書通りの収益を確保するためには200円の値上げ乃至200個の売上増が必要な状況です）家計厳しき折では御座いますが絶大なるご協力・販路拡大を宜しくお願い申し上げます。

西宮YMCA保育園だより

三島 浩 司メン（保育園園長）
(西宮YMCA保育園だより8月号より)

先日、久しぶりに我が子2人と共に海に行ってきました。15年前にYMCAで活動をしていた元リーダーに誘われ、ジェットスキーを体験する事ができました。これまで体験した事のない感覚に2人とも大はしゃぎでした。ジェットスキーに乗っている時以外は海での水遊び。幼児の頃からYMCAのプールで鍛えられた2人は既に4泳法を習得していますので泳ぎには自信が…。けれど、波はあるし、水は塩辛いし、クラゲもいたりしてプールと海では大違い。少し油断をすると命を失いかねません。

学生の頃、YMCAのキャンプリーダートレーニン

グでカヌーに乗り、途中で転覆させられた事があります。転覆した瞬間は何が起こったのか わからないくらい「パニック状態」でした。「させられた」にもかかわらずです。実際に予期しない事が起きたらと考へると…です。この夏も既に多くの方が水の事故で尊い命を失っています。「まさか自分が」誰もがそう思っていたはずです。

我が子2人が海に入っている時には必ず私も水の中に入っていました。少し沖の方へ行く時には必ず浮き輪など「浮くもの」を持って行かせました。同時に私も「浮くもの」を持って一緒に沖へ出て行きました。「まさか自分が」ではなく「もしかすると自分も」といつも最悪の状況を考へます。そして次に最悪の状況にならないようにと。

この夏、みなさんも水辺で遊ぶ機会が多くなると思いますが、充分気をつけてください。

水の事故を防ぐ一番の方法は？

「水辺で遊ばないこと！」

いえいえ、それはちょっと違いますよね。（子ども達だけだと確かにそうですが…。）

リーダー会だより

西宮・宝塚YMCAリーダー会 足利 枝里子さん

こんにちは。8月のリーダー会について報告します。

夏のキャンプなどのプログラムも後半を迎えリーダー会の活気もより一層溢れてきました。私は今年から始まった2泊3日の例会キャンプに参加させていただきました。お盆の時期と重なったせいか子ども達の数は少なかったですが、自然いっぱいの丹波篠山の施設を使い、思いきり遊ぶ子どもの姿を見ることができました。私はトムソーヤと言う小学1~6年生が所属しているセクションにいます。今回、初めて親と離れ不安な子、キャンプに何回もきて慣れている子、様々な子どもがいるトムソーヤならではの縦割りグループの野外料理に挑戦しました。新しいことにチャレンジする子ども達のキラキラした顔がとても印象的でした。日頃の1日例会と比べ、キャンプと言うことでリーダーとして子どもに何ができるのか、また違った視点から考え、ミーティングを重ねることで、よりリーダー同士の仲も深まった気がします。最近では、9月のリーダー例会、10月のカーニバルなどの話も進められています。秋はカーニバルを始めチャリティーランや様々な行事が盛り沢山です。このような行事を通して、より沢山の子ども達に参加

してもらいリーダー会から少しでも素敵な時間を提供できたらと思っています。

今後の活動報告もご期待ください。



西宮YMCA 三島浩司メン

4年に一度のスポーツの祭典、北京オリンピックが無事に閉幕しました。今回のオリンピックでは大気汚染など環境の問題、民族対立によるテロの問題など多くの課題を抱えていましたが、やはりオリンピック、水泳やソフトボール、陸上、柔道、レスリング等多くの感動を与えてくれました。今も尚、世界の様々な国や地域で紛争が耐えませんが、オリンピックではそれらの国や地域の人々が「敵」としてではなく「ライバル」として戦う事ができました。素晴らしい競技からの感動と共に平和について多くのメッセージを与えてくれたように思います。4年後のロンドンオリンピックが、今よりも少しでも平和な世界になって迎えられることを祈りたいと思います。

1. 夏のプログラム実施

7月、8月、神戸YMCAでは多くの夏のプログラムを実施し、参加された子ども達やプログラムを支えてくださった多くのボランティアリーダー、関係者の方々にとって思い出多いものとなったのではないかと思います。

特に今年の夏は、2年目を迎えた余島でのサントリー：キッズ・ドリーム・プロジェクトによるネイチャーキャンプやアドベンチャーキャンプ、台湾YMCAとのI C C P J（国際キャンプカウンセラープログラム）。また、三田YMCAでの香港YMCAグループの環境教育プログラムの受け入れ、東アジア3カ国交流サッカー大会と中日本YMCAサッカー大会のジョイントなども行われ、海外との交流も盛んに行われました。これらのプログラムが今後さらに発展していく事を願っています。

また、各プランチにおいても様々なキャンプ、プログラムが行われ、子ども達やボランティアリーダー達に多くの種をまくことができたのではな

いかと思います。この種がいつの日か 大きく育ち、また多くの種をまく木に成長する事を楽しみにしたいと思います。

2. 今後の予定

1) 西宮YMCA・西宮YMCA保育園ファミリー・プログラム

今年度第1回目のファミリー・プログラムを行いますのでぜひご予定ください。

日 程：9月23日（祝）10:30～15:00

場 所：市が原（神戸市中央区）

内 容：野外料理（カレーと棒焼きパン）

費 用：大人1,000円、小学生以下500円

申込み：西宮YMCA

TEL：0798-35-5987

2) みんなで歌おう！YMCAミュージックフェア

日 程：9月27日 18:30～20:00

場 所：ユースプラザKOB E・E A S T

出 演：川上 盾氏（日本基督教団東神戸教会牧師）

費 用：500円

申込み：神戸YMCA本部事務局

TEL：078-241-7201

3) 古谷武雄神戸YMCA元総主事を偲ぶ会

去る6月7日、天に召された古谷武雄元総主事を偲ぶ会を行いますのでぜひご参加ください。

日 程：10月4日 16:00～19:00

場 所：神戸YMCAチャペル及びサイコー亭

4) 神戸YMCA 第20回午餐会

日 程：10月18日 12:00～14:30

場 所：サイコー亭（神戸YMCA4F）

テマ：知って得するメタボリックシンドロームの話

～あなたのために、未来のある子どもたちのために～

講 師：白坂大輔氏（神戸赤十字病院消化器科副部長）

費 用：3,000円（昼食費含む）

申込み：神戸YMCA本部事務局

TEL：078-241-7201

5) 西宮YMCA・西宮YMCA保育園カーニバル

恒例のカーニバル、今年度は馬場一郎メンを実行委員長として行われます。

日 程：10月26日

場 所：西宮YMC A及び西宮YMC A保育園

6) 第11回神戸YMC Aチャリティーラン

神戸YMC Aで一番大きな行事となっています。
ひとりでも多くの障がいを持つ子ども達が YMC Aのキャンプに参加できるように、 今年もぜひご支援・ご協力ください。

日 程：11月3日（祝）

場 所：しあわせの村（神戸市北区）

余島からあなたへ

余島野外活動センター 中島 晋(新人)

余島は夏真っ最中

皆さんこんにちは。前回の原稿では、「セミって趣があつていなあ。」なんて書きましたが、今では夜でも事務所内にまで奴らは侵入し、鳴き喚き、朝からいい目覚まし時計代わりになってくれています。セミだけでなく多くの昆虫達が昼夜問わずに事務所に来てくれます。

そんな余島では、今年多くの余島ファンが訪れ、ヨット、カヌー、海水浴をはじめとする海のプログラムから虫取りや野外料理などの余島ライフを満喫されています。毎年のように余島にいらっしゃる常連の方から初めての方まで、少しでも余島を楽しんでもらえたらと いう思いでこの島での暑い暑い1年目の夏を過ごしています。名前まで呼んでくれるようになった人達とすぐにお別れするのはとても 残惜しいですが、小さな出会いを大切にして過ごしていきたいです。ここで一句詠みたいと思います。

『余島での 一期一会を 大切に』

トピックス・とぴっくす

廣瀬 一雄メン

小生は現在動物行政の仕事に携わっておりますが、この度、特定非営利活動法人・日本介助犬アカデミーから“ほじょ犬法ガイド”補助犬使用者の受け入

れ方という小冊子が送られてきました。今回は前回に統いて3種の犬の内容を抜粋し順次紹介しましょう。

盲導犬

視覚障害者の安全で快適な歩行をサポートします。

道路交通法第14条{（目が見えない者（目が見えない者に準ずる者を含む。以下同じ）は、道路を通行するときは、政令で定めるつえを携え、又は政令で定める盲導犬を連れていかなければならない。}に定める犬であって、政令で定めるハーネス（胴輪）をつけています。使用者に「障害物・曲がり角・段差」を教えてくれます。

編集後記 ブリテン委員長 廣瀬 一雄

今月のブリテンはデンマーク・ヘアニングでの国際大会とその後のオンパレードとなりました。

旅の始まりからアクシデントがあり、先行きが不安でしたが、参加者全員無事でなにより。外国での国際大会初参加の私も、パートナー（メネットだけのことではありません）に恵まれ、楽しい旅行をさせていただき、感謝。

東西の区の各クラブメンバーとも日本語で会話し、お知り合いになれました。海外のメンバーとは当方のボキャブラリー不足で汗を搔きかき、本当にディナー会場は暑かったです。

大会後のチェコ、オーストリアへの旅をご一緒させて戴いた名古屋の西村ご夫妻、奈良の林ファミリー、大阪河内の望月ご夫妻、大阪セントラルの林ウイメン、熊本ジェーンズの佐藤ウイメン、吉本メン、亀浦ご夫妻、上村ウイメン、鷗原ウイメン、熊本むさいの田上メネット、そして西宮の小野メンと奈良の高橋メン、それぞれにご苦労さまでした。

部長公式訪問も多忙ながらも今回は部長の直筆でいただき、六甲部会を目前に控え岡田実行委員長ともどもやる気十分。西中国部をトップに西日本区の各部会の訪問も控え、健康に御留意を。ジャガイモの運搬・積み下ろし作業もありますよ。